

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第五百九十二號

明治卅九年九月十五日

和歌山縣

公文

○和歌山縣令第四十九號

ベス、防ノ爲本年七月縣令第三十七號物品輸送ニ關スル件中湯淺町ノ下ニ「海草郡岡町村全中之

島村」ヲ追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十三年九月十二日

和歌山縣知事 伯耆 橋 家 秋

○和歌山縣訓令第四十五號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

毎年海軍志願兵徵募ノ節ハ該兵ヲ志願シ得ヘキ年齡ノ者等ヲ召集シ別紙海軍志願兵志願者心得ノ
主旨ヲ布演スヘシ之レカ爲郡役所ニ於テハ郡内適當ノ場所ニ郡書記ヲ出張セシムヘシ

志願者獎勵ノ節ハ成ルヘク尋常小學校卒業以上ノ學力ヲ有シ素行善良ナル者ノ内ヨリ志願兵トシ
テノ身長并體重等ニ合格シ且顯著ナル疾病等ナキ者ニ就キテ勸誘スル事ニ努ムヘシ

郡長ハ第一項ノ出張セシムヘキ日割ハ其ノ決定ノ都度又獎勵ノ狀況ハ志願者出願期日マテニ知事
ニ報告スヘシ

但シ明治三十六年九月和歌山縣訓令甲第三十七號ハ廢止ス

明治三十九年九月十三日

和歌山縣知事 伯 爵 清 棧 家 敷

(別紙ハ別ニ願ツ)

○和歌山縣告示第七十三號
左記ノ者本縣醫務預防吏員ヲ免ス

明治三十九年九月十二日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 教

谷 河 吉 郎

右

○和歌山縣告示第七十四號

農商務省ニ於テ私立攻玉社工學校ニ委託養成スル第二回耕地整理技術者募集可相成旨通知アリ希
望ノ者ハ左記條項承知ノ上速ニ申込ヘシ

明治三十九年九月十三日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 教

一 講習ハ本年十月十六日ヨリ翌年三月三十一日マデトス

二 講習員ノ定員ハ百拾名トス

三 講習生ノ資格ハ私立攻玉社工學校又ハ私立工手學校卒業ノ者又ハ土木工學ニ付之ト同等以上ノ學術技能アル者トス

四 講習生ニハ農商務省ヨリ一人一ヶ月金五圓手當トシテ支給セラレ實地演習ノ場合ニハ受托校ヨリ一日四拾錢ノ旅費補給アリ

五 講習生修學ノ上ハ五ヶ年間農商務大臣ノ指定スル處ニ奉職スル義務アリ
六 募集申込期日ハ十月十日マテトス
但定員ニ滿タサルトキハ其后ノ申込者ヨリモ採用セラレ、トアルヘシ

七 私立攻玉社工學校チシテ募集セシムルモノニ付希望者ハ前項期日内ニ直接該校ヘ申込ムヘシ

縣報第五百九十二號

明治三十九年九月十五日

第三種郵便物認可

三

八 私立攻玉社工學校所在地ハ東京市芝區新鏡座町十番地
○和歌山縣告示第七十五號

左記ノ通定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

明治三十九年九月十三日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 教

年月日	免許番號及名稱	漁場ノ位置	漁物ノ種類	漁業時期	免許期間	條件	漁業權者
明治三十九年九月十三日	六六九	臺網類漁業 西牟婁郡西富田村大字才野	雜魚類	每年七月一日ヨリ十二月卅一日マテ	五年	ナシ	西牟婁郡西富田村 鴨居浦漁業組合
	六七〇	帆簾類漁業 紀ノ川筋 伊都郡笠田村大字佐野字紙木畑ト全郡見好村大字東邊田字下島ト對岸箇所	魚類	每年七月一日ヨリ十二月卅一日マテ	五年	出ス	伊都郡笠田村大字 佐野 小林千代吉
	六七二	全 紀ノ川筋 伊都郡笠田村大字佐野字宮本ト全郡見好村大字東邊田字下島ト對岸箇所	全	全	全	(全)	全 人

(六七〇) 條件

一 木石類ヲ以テ河水ヲ堰立ツヘカラス

一 舟筏通行上障害トナラサル様設備スヘシ

可認物便郵種三第日八月五年三十三治明

明治三十九年九月十日ヨリ三日間當地氣象概況		九月十日	九月十一日	九月十二日
月日	前年	本年	前年	本年
種類	七六〇耗五	七六一耗三	七五九耗〇	七六一耗六
平均氣壓	七六〇耗五	七六一耗三	七五九耗〇	七五九耗一

○觀測

明治三十九年九月十一日左ノ通り懲戒處分ヲ行ヒタリ

那賀郡真國村丹生神社社掌 中谷龜一郎

○神職懲戒

和歌山縣知事 伯爵 清藤 家敏

○和歌山縣告示第百七十六號

兵庫縣城崎郡奈佐村ノ内吉井村ニ於テ本年八月二十九日和種牝牛全部全村ノ内野垣村ニ於テ全日和種牝牛各一頭氣腫疽ニ罹リ斃死セシ旨通知アリタリ

明治三十九年九月十三日

明治三十九年九月十四日印刷
明治三十九年九月十五日發行

平均氣溫	二五度七	一九度二	二六度九	二〇度七	二六度一	二四度四
最高氣溫	三〇度〇	二一度〇	三二度九	二三度五	三一度三	二八度九
最低氣溫	二二度一	一八度一	三二度四	一八度三	二二度七	一九度五
最多風向	北東	北東	東	北東	北	北西
平均風力	二米六	二米九	二米二	二米〇	一米六	二米〇
天氣	晴	雨	快晴	曇少雨	晴	晴
雨雪量	一	四六耗一	一	〇耗五	一	〇耗八
記事現象	午前月環	終日降雨 斷續	一	時々降雨 午前九時 廿分海陸 風雨ノ響 戒着電	一	夜間降雨 及電光 午前九時 四十分内 陸風雨ノ 警戒ヲ解 除ス

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

和歌山縣

和歌山縣

和歌山縣

和歌山縣

縣報第百九十二號

明治三十九年九月十五日

第三種郵便物認可

四終

縣報第五百九十二號附錄
訓令第四十五號別紙

海軍志願兵志願者心得

第一章 志願兵ノ種類

- 第一條 海軍志願兵トシテ徵募セラレヘキ兵種ハ左ノ如シ
水兵、軍樂生、木工、機關兵、看護、主厨
- 第二條 軍樂生及看護志願者ハ體格検査ノ外學科試驗ヲ要ス其ノ程度ハ讀書ハ平易ナル漢字交ハ文、作文ハ通俗文、算術ハ四則トス
- 第三條 木工ハ該職業ニ從事セシ經歷ヲ有スル者ヨリテ木工ニ適スト認メラレヨキ者ヨリ採用セラレ

第二章 徵募并志願

- 第四條 毎年徵募セラレヘキ志願兵ノ員數及出願期日ハ其ノ前年度ニ於テ之ヲ告示ス
- 第五條 海軍志願兵ハ徵兵令ニ關係ナキヲ以テ沿海地方ヲ限ラス何地ヨリニテモ採用セラレ
- 第六條 志願兵願書ハ別紙書式ニ依リ調製シ市現住者ハ市役所、郡現住者ハ町村役場ニ差出ス
- 第七條 志願スヘキ兵種ハ各自ノ隨意ナルヘレニ雖モ毎年各徵募兵員ノ數ニ制限アルヲ以テ該兵種ノ最モ多キヲ第一希望トシ次ニ第二何兵ト併セテ志願スルヲ得策トス
- 第八條 各兵種ヲ志願シ得ヘキ者ノ年齢及合格トナルヘキ身長體重等左ノ如シ

兵種	種別	年 齡	身 長	體 重	胸 圍	胸 廓 擴 張	活 量
----	----	-----	-----	-----	-----	---------	-----

縣報第五百九十二號附錄 明治卅九年九月十五日 第三種郵便物認可

水兵	滿十七年以上 二十一年未滿	五尺二寸以上	十三貫目以上	二尺六寸以上	二寸以上	三立方仙迷以上
軍樂生	滿十六年以上 十九年未滿	五尺一寸以上 五尺二寸以上 五尺三寸以上 五尺四寸以上 五尺五寸以上	十二貫目以上 十二貫目以上 十二貫目以上 十二貫目以上 十二貫目以上	二尺五寸三分 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸	二寸以上 二寸以上 二寸以上 二寸以上 二寸以上	二千八百立方仙迷以上 二千九百立方仙迷以上 二千九百立方仙迷以上 二千九百立方仙迷以上 二千九百立方仙迷以上
木工	滿十七年以上 二十六年未滿	五尺以上	十二貫五百目以上	二尺五寸三分以上	一寸八分以上	三立方仙迷以上
機關兵	滿十七年以上 二十一年未滿	五尺二寸以上	十三貫目以上	二尺六寸以上	二寸以上	三立方仙迷以上
看護	滿十七年以上 二十六年未滿	五尺二寸以上	十三貫目以上	二尺六寸以上	二寸以上	三立方仙迷以上
主厨	滿十七年以上 二十六年未滿	五尺以上	十二貫五百目以上	二尺五寸五分以上	一寸八分以上	三立方仙迷以上

第九條 志願者ノ年齢ハ徵募年(入團スル)ノ十二月卅一日ヲ以テ計算スルモノトス即チ左ノ如シ

備考 水兵機關兵看護志願者ニ在テハ十七年未滿ナルトキハ身長五尺一寸五分、體重十二貫五百目、胸圍二尺五寸五分以上〇十八年未滿ナルトキハ身長五尺一寸七分、體重十二貫七百目、胸圍二尺五寸七分以上ニシテ發育ノ見込アルモノハ合格トナサル、コトアルヘシ

兵種	徵募年	四十年年度	四十一年度	四十二年年度	四十三年年度
水兵	自明治二十年一月二日生	自明治廿一年一月二日生	自明治廿二年一月二日生	自明治廿三年一月二日生	自明治廿四年一月二日生
機關兵	自明治廿四年一月二日生	自明治廿五年一月二日生	自明治廿六年一月二日生	自明治廿七年一月二日生	自明治廿八年一月二日生
軍樂生	自明治廿二年一月二日生	自明治廿三年一月二日生	自明治廿四年一月二日生	自明治廿五年一月二日生	自明治廿六年一月二日生
木工、看主厨	自明治十五年一月二日生	自明治十六年一月二日生	自明治十七年一月二日生	自明治十八年一月二日生	自明治十九年一月二日生

第三章 各兵種ノ職務

- 第十條 各兵種ノ職務概テ左ノ如シ
- 一 水兵ハ主トシテ銃砲并水雷兵器ヲ取扱ヒ或ハ艦船ニ在リテ甲板上ノ諸事業ニ從事スルモノトス
 - 二 軍樂生ハ軍樂ヲ奏シ精神ヲ壯快ニセシメ土氣ヲ鼓舞スルモノトス
 - 三 木工ハ木材ヲ以テ要スル器具ヲ製作シ若クハ破損物品ノ小修理ヲ主ルモノトス
 - 四 機關兵ハ艦船ヲ推進スヘキ蒸氣機關ノ運轉若クハ蒸氣ヲ發生スヘキ汽機ニ焚火シ或ハ金屬ヲ以テ要スル器具ヲ製作シ若クハ破損シタル兵器物品ノ小修理ヲ主ルモノトス
 - 五 看護ハ疾病傷痍者ノ看護若クハ調藥等總テ醫務上ノ事ヲ主ルモノトス
 - 六 主厨ハ糧食ノ配給若クハ炊爨等總テ庖厨ノ事ヲ主ルモノトス

縣報第五百九十二號附錄 明治廿九年九月十五日 第三種郵便物認可

第四章 検査

第十一條 志願者検査所ハ概テ一郡市ニ一ヶ所ヲ設ケ志願人十名ニ滿タサル郡市ニ在テハ便宜ノ検査所ニ集メ検査ヲ施行セラル但シ地形上召集ニ便ナラサルトキハ特ニ検査所ヲ設置セラル、コトアルヘシ

前項ノ人員ハ出願期日マデノ員數ニ依リ計算スルヲ例トスルヲ以テ志願者ハ期日ヲ後レサル様注意スヘシ

第五章 採用後ノ待遇

第十二條 志願兵入團ノ節ハ其期日ヲ市役所町村役場ヨリ達セラレ且其ノ旅費ハ官給トシ一旦歸應ニ集合ノ上属官又ハ郡市町村吏員ノ附添ヲ受クルモノトス

第十三條 志願兵入團ノ上ハ左ノ物品ヲ交附セラルヘキヲ以テ郷里出發ノ節ハ草履ヲ穿テ合格証書、採用証書、旅費并實印ヲ携帯シ其ノ他ノ物品ハ成ルヘク持參スヘカラス

被服物品定數表

品名	兵種ニ依ル數額	軍樂生ニ給セラルヘキ數額
正服上衣袴	水兵、木工、機關兵、看護及主厨ニ給セラルヘキ數額	二
通常禮服上衣袴		一
軍服上衣袴		三

衣	蒲	毛	前	劍	短	靴	靴	袴	手	襟	襟	麻
	團		立									
囊	覆	布	毛	帶	劍	下		釣	袋	飾	卷	襟
一	二	三			六		(水兵、木工) (機關兵)			三	一	
一	二	三	一	一	一	六	二	二	二			四

縣報第五百九十二號附錄

明治卅九年九月十五日

第三種郵便物認可

三

脚	袴	中	中	襦	夏	帽	正	雨	雨	外	胴	夏
		着			服		服	衣				服
胖	下	襟	着	袴	帽	覆	帽	帽	衣	套	衣	袴
一	二	二	二	三	一	三	二	一	一	一		三
一	二			三		三	二		一	一	二	三

(水兵)

第十四條 志願兵入團ノ上ハ左ノ糧食ヲ給セラル

糧食品種量額表

備考	本表ノ定數ハ常ニ之ヲ所持セシメラル	
腹	卷	一
折	メ ス	(水兵) 一
折	メ ス	(水兵) 二
紺	足 袋	(水兵) 二
前	垂	(主厨) 三
頭	巾	(主厨) 三
正服	禮服 徽章	二
通常	禮服 徽章	一
臂	章	附着スヘキ被服ノ數ニ同シ
食	器	同上

第十五條 志願兵ハ兵卒ヨリ漸次累進シテ下士准士官又ハ士官ニ任セラル、ヲ得其ノ各名稱左ノ如シ

品	種	一週日量額
麵	包	一貫 匁
鳥獸	魚肉類	一貫 匁
穀	類	一貫四百匁
乾物	野菜類	一貫二百匁
茶	焙麥類	二十 匁
砂	糖類	百六十 匁
醬油	酢油類	五 匁
鹽	類	四 匁
凝	脂	三 匁

士官(少尉) 准士官 下士官 卒

明治卅九年九月十五日

第三種郵便物認可

兵曹長	上等兵曹	兵曹	水兵
軍樂長	軍樂師	軍樂手	軍樂生
船匠長	船匠師	船匠手	木工
機關兵曹長	上等機關兵曹	機關兵曹	機關兵工
看護長	看護師	看護手	看護兵
筆記長	上等筆記	筆記	筆記

備考 兵曹長及機關兵曹長ハ尙特選ニ依リ中尉又ハ機關中尉ニ進級スルヲ得

第十六條 服役中左ノ俸給及航海加俸ヲ給セラル尙再服役ニ就キタルトキハ再服役手當其ノ他在
勳加俸、勞働手當、被服手當、支度手當、食卓手當等ヲ給セラル、ノ制アリ

高等武官俸給表 (大尉及同相當官以上ハ畧ス)

中尉及同相當官	少尉及同相當官	兵曹長及同相當官
一級 六百元	二級 四百四十圓	一級 七百八十圓
二級 五百四十圓	三級 四百四十圓	二級 七百二十圓

備考 兵曹長及同相當官ニシテ一級俸ヲ受ケ在職五ヶ年以上ニ至リ特ニ功勞アル者ニハ年俸八百六十圓ヲ給セラル、ヲ得

准士官俸給表

一級	二級	三級	四級
六百圓	五百四十圓	四百八十圓	四百二十圓

下士俸給表

區別	一級	二級	三級	四級	一級	二級	一級	二級
甲	八拾四錢	七拾錢	五拾八錢	四拾四錢	四拾錢	參拾七錢	參拾貳錢	參拾錢
乙	五拾八錢	四拾九錢	四拾壹錢	參拾壹錢	貳拾八錢	貳拾六錢	貳拾參錢	貳拾貳錢

卒俸給表

區別	等卒	二等卒	三等卒	四等卒	五等卒
甲	貳拾壹錢	拾八錢	拾五錢	拾貳錢	七錢
乙	拾五錢	拾參錢	拾壹錢	八錢	五錢

艦船航海加俸表 (大尉及同相當官)
以上ハ畧ス

官別	本邦沿岸		清、韓、亞細亞		東經九十度以東		東經九十度以西	
	北緯四十四度以南	北緯四十四度以北	北緯四十四度以南	北緯四十四度以北	西經六十度以西	西經六十度以東	西經七十度以西	西經七十度以東
中少尉及相當官 兵曹長及相當官	參拾	四拾	四拾	五拾	九拾	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓五拾錢
准士官	貳拾	參拾	參拾	四拾	六拾	八拾	壹圓	壹圓
下士	四	六	六	七	拾	拾	貳拾	貳拾
一等卒	參	五	五	六	九	拾	拾	拾
二等卒	貳	參	參	四	六	八	八	拾
三等卒	壹	貳	貳	參	四	六	六	拾
四等卒								
五等卒								

驅逐艦及水雷艇航海加俸表 (大尉及同相當官)
以上ハ畧ス

官別	本邦沿岸		清、韓、亞細亞		東經九十度以東		東經九十度以西	
	北緯四十四度以南	北緯四十四度以北	北緯四十四度以南	北緯四十四度以北	西經六十度以西	西經六十度以東	西經七十度以西	西經七十度以東
中少尉及相當官 兵曹長及相當官	四拾	六拾	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢	貳圓	貳圓
准士官	參拾	四拾	九拾	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓五拾錢	壹圓五拾錢
下士	拾	拾	參拾	四拾	四拾	四拾	五拾	五拾
卒	六	九	拾	八	貳拾	四拾	參拾	拾

縣報第五百九十二號附錄 明治卅九年九月十五日 第三種郵便物認可 六

第十七條 左ノ各號ノ一ニ當ル下士卒ニハ各號ニ就キ一日六錢以內ノ加俸ヲ給セラル但第三號及第四號ニ當ル者同技術ノ證書、証狀ヲ併有スル場合ニ於テ加俸ノ額同シキトキハ證書ニ依リ異ナルトキハ多額ニ就キ其ノ一ヲ給セラル

- 一 善行章ヲ有スル者
- 二 教員ノ職ヲ奉スル者
- 三 砲術教員適任證書水雷術教員適任證書軍樂教員適任證書又ハ機關術教員適任證書ヲ有スル者
- 四 掌砲賞狀掌水雷賞狀信號賞狀軍樂高等科卒業証書機關工術專科證書掌機賞狀水雷工賞狀

又ハ長火選手賞狀ヲ有スル者

軍艦驅逐艦水雷艇及水雷敷設隊ノ砲術射手ノ部署ニ在リテ射撃ノ成績良好ナル下士卒ニハ一日
貳拾錢以内ノ加俸ヲ給セラル、コトヲ得

第十八條 下士卒ニハテ家族アル者ニ限リ其ノ扶助金トシテ一ヶ月金八拾五錢ヲ其ノ家族ニ給セ
ラ、

第十九條 志願兵ノ服役ヲ分チテ現役及豫備役トス現役ハ八箇年ニシテ入團ノ日ヨリ之ニ服シ豫
備役ハ四箇年ニシテ現役ヲ終リタル翌日ヨリ之ニ服ス

八箇年ノ現役満期ニ至ルトキハ三箇年宛年限年給マテ再役スルコトヲ得

第二十條 下士卒ノ服役年限年給ハ左如シ

下士 年給四十五歲迄

卒 年給四十歲迄

第二十一條 現役中若シ負傷シ或ハ疾病ニ罹リタルキハ其ノ輕症ノ者ハ艦團隊校内ノ病室ニ於テ
シ其ノ重症ノ者ハ海軍病院ニ於テ療養セシメラル

第二十二條 父母重病ノ時ハ其願出ニ依リ往復ヲ除キ二週間以内親看護婦ヲ許サレ、コトヲ得

第六章 恩給

第二十三條 退職恩給ハ准士官以上左ニ掲グル事項ノ一ニ當ルトキハ之レヲ給セラル

- 一 現役十一年以上ニシテ年限ノ年給ニ達シ又ハ年限ノ年給ニ達セサルモ傷痍ヲ受若シクハ
疾病ニ罹リ服役ニ堪ヘス退職シタルトキ
- 二 戦闘及戰時平時ニ拘ラス公務ノ爲傷痍ヲ受ケ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者

退職恩給表

年 等	任 官						准 士 官
	一 等	二 等	三 等	四 等	五 等	六 等	
十一年七百五十拾圓	六百圓	四百五十拾圓	參百圓	貳百貳拾五圓	百八拾圓	百五拾圓	判 任 官
十二年七百六十拾圓	六百拾圓	四百五十拾八圓	參百五圓	貳百貳拾九圓	百八拾參圓	百五拾參圓	准 士 官
十三年七百七十拾五圓	六百貳拾圓	四百六十拾五圓	參百拾圓	貳百參拾參圓	百八拾六圓	百五拾五圓	准 士 官

備考 五十年マテ逐次増加ス

- ニシテ退職シタルトキ
- 三 戰地ニ於テ流行病ニ罹リ又ハ戰時平時ニ拘ラス公務ノ爲健康ニ有害ナル感動ヲ受クルヲ
願ミルコト能ハスレテ勤務ニ従事シ爲ニ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スハキ者ニシ
テ退職シタルトキ
- 四 現役十一年以上ニシテ未タ年限ノ年給ニ達セスト雖モ休職停職満期若クハ諭示ニ依テ退
職シタルトキ

第二十四條 免除恩給ハ下士以下左ニ掲グル事項ノ一ニ當ルトキハ之ヲ給セラル

- 一 現役十一年以上ニシテ年限ノ年給ニ達シ又ハ年限ノ年給ニ達セサルモ服役満期トナリ或
ハ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ服役ニ堪ヘス免官若クハ現役ヲ免除セラレタルトキ

二 第二十三條第二號又ハ第三號ニ由リ免官者クハ現役ヲ免除セラレタルトキ
免除恩給表

年 數	官 等				海 軍				
	下 判	任	官	士	一 等 卒	二 等 卒	三 等 卒	四 等 卒	五 等 卒
十 一 年	九拾五圓	八拾五圓	七拾五圓	六拾五圓	五拾五圓	五拾圓	四拾五圓	四拾圓	四拾圓
十 二 年	九拾參圓	八拾參圓	七拾參圓	六拾貳圓	五拾七圓	五拾貳圓	四拾七圓	四拾貳圓	四拾圓
十 三 年	九拾五圓	八拾五圓	七拾五圓	六拾四圓	五拾九圓	五拾四圓	四拾九圓	四拾四圓	四拾四圓

備考 五十年マテ逐次増加ス

第二十五條 増加恩給ハ戰闘及戰時平時ニ拘ラス公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ニ退職恩給、免除恩給ノ外特ニ給セラルモノトス

第二十六條 賑恤金ハ下士以下ニ掲クル事項ノ一ニ當リ増加恩給ヲ受クヘキ傷痍或ハ疾病ヨリ輕症ナル者ニ之ヲ給セラル

一 戰闘ノ爲傷痍ヲ受ケ現役ヲ離レタルトキ

二 公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ第二十三條第三號ニ原由スル疾病ニ罹リ現役ヲ離レタルトキ

第二十七條 給助金ハ下士以上現役中死没シ若クハ現役四年以上十一年未滿コレテ現役ヲ離レ退職恩給、免除恩給ヲ受ケサル者ニ之ヲ給セラル

第二十八條 從軍年ハ現役外ノ年月トシ之ヲ其ノ服役年數ニ加算セラル其ノ加算ノ方法ハ左ノ各項ニ依ル

一 外國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレ内國港灣ヲ出發シタルトキハ二箇年

二 内國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレ戰地ニ臨ミタルトキハ一箇年

三 臨戰合圍地境内ニ於テ服役シタルトキ外國ニ在ツテハ二箇年内國ニ在ツテハ一箇年

四 日本國外ノ鎮戍ニ在リタルトキハ一箇年

五 出征事件ニ關シ功績アル者及一時ノ出兵ヲ出征軍ト見做シ從軍年ニ加算スヘキ場合ハ勅裁ニ依ル

第二十九條 海軍々人ノ外國航海ハ從軍年ニ準シ内國港灣出發ノ日ヨリ一航海ヲ半箇年ニ加算セラル其ノ航海十二ヶ月ニ超ユルトキハ更ニ半箇年ヲ加算セラル

第三十條 軍人左ノ各號ノ一ニ當リタルトキハ其ノ寡婦ハ扶助料ヲ受クルノ權利アルモノトス
一 戰死シ又ハ戰闘ニ因ル負傷ノ爲メ死没シタルトキ
二 公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疰病ニ罹リ又ハ戰地ニ於テ若ハ公務旅行中流行病ニ罹リ死没シタルトキ

三 退職恩給若ハ免除恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受クヘキ權利ヲ有シテ死没シタルトキ

第三十一條 寡婦ナキトキハ孤兒父母又ハ祖父母ニ給セラルヘキモノトス

孤兒父母又ハ祖父母ナクシテ二十歳未滿又ハ癡疾若クハ不具ニシテ産業ヲ營ムコト能ハサル兄弟姉妹アリテ之ヲ給養スル者ナキトキハ一時限リ扶助料ヲ給セラルコトヲ得

扶助料表

官種	高 等 官			准 士 官 及 下 士			海 軍 卒					
	六等	七等	八等	一 等	二 等	三 等	四 等	一 等	二 等	三 等	四 等	五 等
甲 號	參百圓	貳百貳拾五圓	百八拾圓	百五拾圓	九拾圓	八拾圓	七拾圓	六拾圓	五拾圓	五拾圓	四拾圓	四拾圓
乙 號	貳百圓	百五拾圓	百貳拾圓	百圓	六拾圓	五拾圓	四拾圓	四拾圓	三拾圓	三拾圓	貳拾圓	貳拾圓
丙 號	百圓	七拾五圓	六拾圓	五拾圓	參拾圓	貳拾圓	貳拾圓	拾九圓	拾七圓	拾七圓	拾五圓	拾參圓
備 考	甲號ハ第三十條第一號、乙號ハ同條第二號、丙號ハ同條第三號ニ當ルモノトス											

第七章 志願スルヲ得サル者及採用セザレサル者

- 第三十二條 左ニ掲クル者ハ志願スルヲ得ス
- 一 陸軍ノ豫備役及後備役ニ在ル者
 - 二 徵兵令第二十八條ニ當ル者
 - 三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者
 - 四 刑事被告人
 - 五 復權ヲ得サル家資分散者破産者若クハ其ノ相續人
 - 六 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者若クハ其ノ相續人
- 第三十三條 左ニ掲クル者ハ採用セザルヲ得ス

縣報第五百九十二號附錄 明治卅九年九月十五日 第三種郵便物認可

- (別紙)
- 海軍志願兵願
- 一 身體完全ナラザル者
 - 二 品行方正ナラザル者
 - 三 無教育ノ者
 - 四 前各號ニ掲クル者ノ外海軍軍人ノ服役ニ適セザル者

志願人 何 某 (傍調片假名ヲ付スヘシ)

- 一 志願兵種 第一何々 第二何々
- 二 教 育 高等(尋常)小學卒業(何學年修業)
- 三 出 生 地 何那(市)何町(村)大字何番地 (他府縣出生ノ者ハ其ノ府縣國名ヲモ記スヘシ)
- 四 住 所 何那(市)何町(村)大字何番地 (出生地ニ同シケレハ出生地ニ同シト記スヘシ) (本籍ト現住所ト異ナル者ハ兩方トモ記スヘシ)
- 五 族 籍 士族(平民) (他府縣ノ者ハ其ノ府縣名ヲモ記スヘシ)
- 六 職 業 農(商)(大工)(鍛冶)(學校生徒)
- 七 出生年月日 明治何年何月何日

八 海軍志願兵條例ニ抵触スル事ナレ
 九 前年檢査成績 合格(不合格)(志願セス)
 右志願候也
 明治年月日

本人 何 某
 (二十歳未満ノ者ニ在ツテハ母主(後見人)
 ノ外親權ヲ行フ父及ハ母ノ連署ヲ要ス)

和歌山縣知事爲何某殿
 前書取調候處相違無之候也
 明治年月日

(注意) 木工志願者ハ該職業及經歷ニ關スル市町村長ノ証明書(左ノ書式)ヲ得テ添付スヘシ
 木工証明書
 何市(町)(村)長 何 某
 住 所 海軍木工志願者 何 某

一職 業 大工(指物職)
 一明治年何月ヨリ現今(明治何年何月)迄何郡何村大工何米ニ就キ同職ニ従事ス
 右相違無之証明候也
 明治年月日
 何市(町)(村)長 何 某

(附 録)

縣報第五百九十二號附錄 明治廿九年九月十五日 第三種郵便物認可 一〇

軍 艦 表

艦 名	艦 種 等 級	長	幅	排 水 量
富 士 戰 艦	戰 艦	三七四、〇	七三、〇	一一、五三三
敷 島 同	同	四〇〇、〇	七五、六	一四、八五〇
朝 日 同	同	四〇〇、六 $\frac{2}{3}$	七五、二 $\frac{2}{3}$	一五、二〇〇
三 笠 同	同	四〇〇、〇	七六、二 $\frac{2}{3}$	一五、一四〇
相 模 同	同	四〇一、三	七二、九	一一、六七四
肥 前 同	同	三七四、〇	七二、三	一一、七〇〇
周 防 同	同	四〇一、三	七一、六	一一、六七四
石 見 同	同	三六七、六	七六、〇	一三、五一六
丹 後 同	同	三六七、六	六九、〇	一〇、九六〇
鹿 島 同	同	四二五、〇	七八、一 $\frac{1}{2}$	一六、四〇〇
香 取 同	同	四二〇、〇	七八、〇	一五、九五〇

縣報第五百九十二號附錄 明治卅九年九月十五日 第三種郵便物認可

生駒	一等巡洋艦	四四〇、〇	七五、〇	一三、七五〇
筑波	同	四四〇、〇	七五、〇	一三、七五〇
淺間	同	四〇八、〇	六七、二 $\frac{2}{3}$	九、七〇〇
常盤	同	四〇八、〇	六七、二 $\frac{2}{3}$	九、七〇〇
八雲	同	四〇八、一一	六四、二	九、六九五
吾妻	同	四三一、七 $\frac{7}{8}$	五九、六	九、三二六
磐手	同	四〇〇、〇	六八、八 $\frac{8}{10}$	九、七七三
出雲	同	四〇〇、〇	六八、八 $\frac{8}{10}$	九、七三三
春日	同	三四四、〇 $\frac{3}{8}$	六二、〇 $\frac{0}{8}$	七、六二八
日進	同	三四四、〇 $\frac{3}{8}$	六一、四 $\frac{4}{8}$	七、三九八
阿蘇	同	四四三、〇	五五、九	七、七二六
浪速	二等巡洋艦	三〇〇、六	四六、二	三、六五〇
高千穂	同	三〇〇、六	四六、二	三、六五〇

嚴島	同	三〇一、一〇	五一、二	四、二一〇
松島	同	三〇一、一〇	五一、二	四、二一〇
橋立	同	三〇一、一〇	五一、二	四、二一〇
笠置	同	三七四、六	四八、一一	四、九〇〇
千歲	同	三七七、一	四九、二	四、七六〇
津輕	同	四一三、三	五五、九	六、六三〇
宗谷	同	四二〇、〇	五二、〇	六、五〇〇
和泉	三等巡洋艦	二八〇、一一	四二、〇	二、九八七
新高	同	三三四、八	四四、一 $\frac{1}{8}$	三、三六六
千代田	同	三〇二、〇	四二、七 $\frac{7}{8}$	二、四五〇
秋津洲	同	三〇一、四 $\frac{4}{8}$	四三、一	三、一五九
須磨	同	三〇六、九	四〇、一 $\frac{1}{8}$	二、六五七
明石	同	二九五、三 $\frac{3}{8}$	四一、九 $\frac{9}{8}$	二、七五五

縣報第五百九十二號附錄 明治卅九年九月十五日 第三種郵便物認可

對馬	音羽	鎮遠	壹岐	扶桑	沖島	見島	金剛	比叡	天龍	萬城	大和	武藏
馬	羽	遠	岐	桑	島	島	剛	叡	龍	城	和	藏
同	同	一等海防艦	同	二等海防艦	同	同	三等海防艦	同	同	同	同	同
三三四、八	三三二、六	二九八、七	三三六、〇	二二〇、四	二七七、六	二六五、〇	二二三三、八	二二三三、八	二二二、六 ³ / ₄	二〇一、四	二〇一、四	二〇一、四
四一、一 ¹ / ₆	四一、五	六〇、〇	六七、〇	四八、〇	五二、六	五二、六	四〇、九	四〇、九	三五、五 ¹ / ₆	三五、〇	三五、〇	三五、〇
三、三六六	三、〇〇〇	七、六七〇	九、六七二	三、七八三	四、二〇〇	四、一二六	二、二四八	二、二四八	一、五二二	一、四七八	一、四七八	一、四七八

高雄	松江	宇治	磐城	摩耶	鳥海	赤城	岡田	八重山	龍田	千早	蒲洲	錦川
雄	江	治	城	耶	海	城	田	山	田	早	洲	川
同	同	二等砲臺	同	同	同	同	同	通報艦	同	同	同	同
一三三、一、六	二三七、六	一八〇、五 ³ / ₄	一四五、六	一五四、七	一五四、七	一五四、七	一四五、〇	三一八、〇	二四〇、〇	二七三、〇	三四四、〇	五〇八、〇
三四、六 ² / ₃	三四、一	二七、八	二五、一〇	二七、一	二七、一	二七、一	二四、〇	三四、六	二七、七	三一、七 ¹ / ₂	四三、〇	五八、三
一、七五〇	一、五五〇	六一〇	六五七	六一二	六一二	六一二	六一二	一、五八四	八六八	一、二三八	二、九三七	一一、七〇〇

備考	韓	豐
驅逐艦及水雷艇ハ省略ス、一吋ハ八分四厘、一呎ハ一尺六厘、一噸ハ二百七十貫九百四十六匁ナリ	崎同	橋水雷母艦
	四四〇、〇	三四四、〇
	四九、六	四〇、二
	一〇、五〇〇	四、〇五五